

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

～健幸実感～ 国民保養温泉地活性化プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

上田市

3 地域再生計画の区域

上田市の区域の一部（鹿教湯温泉地区）

4 地域再生計画の目標

上田市の西端に位置する丸子温泉郷は、昭和 31 年に国民保養温泉地の指定を受け、泉質の良さから保養と湯治を中心に発展した。その発展を牽引してきた鹿教湯温泉は、かつては「健康の里」として賑ったが、近年は入込客減少や温泉供給施設等の老朽化といった課題に直面していた。この課題解決のため、地域の観光協会、旅館組合、自治会等各種団体を横断的に総括する団体「鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト」（以下「総括団体」という。）が組織され、平成 25 年 3 月には住民自らが総合計画を作成し、活性化に向けた取組みが始まった。さらに、この動きを支援する形で、平成 28 年 5 月には環境省、日本理学療法士協会、上田市の 3 者により、温泉を生かした健康づくりに関する協定が締結されたほか、同年同月には総括団体が、総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金を受け、温泉地移住事業を始めるなど、住民が自ら立ちあがる形での新たな地域活性化への取組みが活発化している。

これら地域住民の取組みに併せ、老朽化した温泉供給施設を整備し鹿教湯温泉の課題を解消することで、住民自らが始めた移住事業など地域活性化の取組みをさらに加速させ、「温泉を生かしたヘルスツーリズム」による滞在交流型観光地づくりを目指すものである。

【数値目標】

事業	～健幸実感～ 国民保養温泉地活性化プロジェクト	年月
K P I	鹿教湯温泉観光客入込数（千人）	
申請時	176	H28. 3
初年度	180	H30. 3
2年目	187	H31. 3
3年目	194	H32. 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

滞在交流型観光地づくりを目指し、老朽化施設を計画的に整備する温泉施設整備補助事業（大切な地域資源の次代への継承）や、温泉を活用した滞在型観光推進事業、移住促進事業を行う。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

（1）事業名：温泉施設整備補助事業（大切な地域資源の次代への継承）

（2）事業区分：観光業の振興

（3）事業の目的・内容

（目的）

上田市の西端に位置する丸子温泉郷の発展を牽引してきた鹿教湯温泉は、近年は入込客減少や温泉供給施設等の老朽化といった課題に直面していたが、住民が自ら立ちあがる形での新たな地域活性化への取組みが活発化している。

地域住民の取組みに併せ、老朽化した温泉供給施設を整備し鹿教湯温泉の課題を解消することで、住民自らが始めた移住事業など地域活性化事業の取組みをさらに加速させ、「温泉を生かしたヘルスツーリズム」による滞在交流型観光地づくりを目指す。

（事業の内容）

温泉施設整備補助事業（大切な地域資源の次代への継承）

① 温泉地の根幹となる源泉揚湯ポンプ等の源泉関連施設の計画的な整備の検討支援及び事業補助の実施

- ② 老朽化が進み、管の破裂による配湯停止が危惧される配湯管等、地下埋設管の計画的な整備の検討支援及び事業補助の実施

補助対象者：丸子温泉開発㈱

補助率：1/2以内

→各年度の事業の内容

温泉施設整備補助事業（大切な地域資源の次代への継承）

初年度) ①②の検討、実施

2年目) 前年度事業検証のうえ継続実施

3年目) 前年度事業検証のうえ継続実施

(4) 地方版総合戦略における位置づけ

上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「人口の社会増を伸ばす」という基本目標のもと、地域資源を生かした知名度アップと交流促進を施策として掲げている。

本事業は、地域住民の自発的な取組との相乗効果により「温泉を生かしたヘルスツーリズム」による滞在交流型観光地づくりを推進し、上田市総合戦略の施策「地域資源を生かした知名度アップと交流促進」において指標としている「観光地延べ利用者数（現状：H26 475万人→H31 580万人）」の達成に直接寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	温泉施設整備補助事業（大切な地域資源の次代への継承）	年月
KPI	鹿教湯温泉観光客入込数（千人）	
申請時	176	H28.3
初年度	180	H30.3
2年目	187	H31.3
3年目	194	H32.3

(6) 事業費

(単位：千円)

温泉施設整備補助事業 (大切な地域資源 の次代への継承)	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計		23,010	10,000	10,000
区分	補助金	23,010	10,000	10,000	43,010

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29		H30		H31		計
	法人名	製造業	製薬 関連	製造業	製薬 関連	製造業	
見込み額 (千円)		100	100	100	100	100	600

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

事業のKPI実績値を公表する。また、長野大学、上田信用金庫等で構成する外部有識者等が参画する上田市総合戦略推進協議会において事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度末の達成状況により上田市総合戦略推進協議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに上田市ホームページで公表する。

(9) 事業期間 平成29年4月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 健康や伝統文化をキーワードとした新たな滞在型観光推進事業（元気や健康と幸せを感じる事ができる温泉地づくり）

事業概要：

- ① 運動指導員が中心となり、温泉プールを活用した水中ポールウォークなどによる健康増進を目的とした、連泊による【新型湯治事業】の検討、実施
- ② 理学療法士や管理栄養士が中心となり、生活習慣病予防を目的として、温泉のリラクゼーション効果を活用しながら、食生活の改善と運動指導を実施する【温泉活用型健康推進事業】の検討、実施
- ③ 宿泊施設と地域病院等が連携し、認知症予防を目的として、検査を行い、その結果を受け効果的な運動等の日常生活のアドバイスを実施する、【認知症予防事業】の検討、実施
- ④ 鹿教湯温泉の伝統芸能である和太鼓演奏をキーワードとして、和太鼓体験や演奏技術向上を目的とした合宿受け入れにより、和太鼓の里としての【新たな鹿教湯ブランド推進事業】の検討、実施

実施主体：上田市、総括団体

事業期間：平成 28 年度～

(2) 幸せ実感温泉地移住促進事業（温泉を活かして幸せを感じる地域づくり）

事業概要：

- ① 里山の温泉地で、ゆとりある子育てを希望し、移住を検討している家族を対象とした、【温泉地子育て移住体験事業】の検討、実施
- ② 児童数の減少が続く小規模校でありながら、金管バンドが全国大会へ出場するなど、特色ある学校づくりを進めている西内小学校の児童と、移住希望家族の児童が交流を行いながら移住を促進する、【交流による移住促進事業】の検討、実施
- ③ 毎日温泉を楽しめる事や、里山の自然を感じながら土に触れる農業を楽しめるという地域特性を活かした、【ゆとりある温泉地移住事業】の検討、実施

実施主体：上田市、総括団体

事業期間：平成 28 年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

事業の K P I 実績値を公表する。また、外部有識者等が参画する上田市総合戦略推進協議会において事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

毎年度末の達成状況により上田市総合戦略推進協議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況は、検証後速やかに上田市ホームページで公表する。